

# 喀痰吸引等研修 (1・2号)カリキュラム

時間		目次		科目
1日目	9:00~17:30 (7.5時間)	9:00~9:10		オリエンテーション
		第I部	第1章	1・介護職員と医療的ケア 2・介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度
			第2章	1・保険医療に関する制度 2・医行的行為に関係する法律 3・チーム医療と介護職員との連携
			第3章	1・喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2・救急蘇生 確認テスト
第4章	1・感染予防 2・職員の感染予防 3・療養環境の清潔、消毒法 4・減菌と消毒			
2日目	9:00~17:00 (7時間)	第II部	第5章	1・身体、精神の健康 2・健康状態を知る項目(バイタルサインなど) 3・急変状態について
			第1章	1・呼吸のしくみとはたらき 2・いつもと違う呼吸状態 3・喀痰吸引とは 4・人工呼吸器と吸引 5・子どもの吸引について 確認テスト
3日目	9:00~17:00 (7時間)	第III部	第1章	6・吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 7・呼吸器系の感染と予防(呼吸と関連して) 8・喀痰吸引により生じる危険、事後の確認 9・急変・事故発生時の対応と事前対策
			第2章	1・喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2・吸引の技術と留意点 3・喀痰吸引にともなうケア 4・報告および記録
			第3章	介護職員等による喀痰吸引のケア実施の手引き 確認テスト
4日目	9:00~17:00 (7時間)	第III部	第1章	1・消化器系のしくみとはたらき 2・消化・吸収とよくある消化器の症状 3・経管栄養とは 4・注入する内容に関する知識 5・経管栄養実施上の留意点 6・子どもの経管栄養について 7・経管栄養に関する感染と予防 確認テスト
5日目	9:00~17:00 (7時間)		第1章	8・経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 9・経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 10・急変・事故発生時の対応と事前対策
6日目	9:00~17:00 (7時間)	第III部	第2章	1・経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2・経管栄養の技術と留意点 3・経管栄養に必要なケア 4・報告および記録
			第3章	介護職員等による経管栄養のケア実施の手引き 確認テスト
7日目	9:00~17:30 (7.5時間)	第IV部	評価試験	評価試験(筆記テスト30問 4肢択一問題) 面接 ・演習(救急蘇生)1回以上シミュレーターを用いて演習 ・デモ講義(喀痰吸引・経管栄養)

8日目・9日目(6時間演習 2日間)	
A日程 9:00~16:00 (6時間)	
1日目	痰の吸引
2日目	経管栄養
B日程 9:00~16:00 (6時間)	
1日目	痰の吸引
2日目	経管栄養

実施ケア等種類	実施(評価)回数	評価回数	
痰の吸引	口腔内の喀痰吸引	5回以上	介護職員が、痰の吸引をシミュレーターを用いて演習でき、一人で実施できること
	鼻腔内の喀痰吸引	5回以上	
	気管カニューレ内の喀痰吸引	5回以上	
経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	5回以上	介護職員が、経管栄養をシミュレーターを用いて効果的に演習でき、一人で実施できること
	経鼻経管栄養	5回以上	

※ 座学50時間・演習12時間(62時間) 2ヶ月コース(9日間)

〒870-0044 大分市舞鶴町1丁目3番28号 ネクスト舞鶴ビル4階

ケアサポート学院 大分校